第４章
南相馬震災ドキュメント

４－１	３月 11日－ ３月 20日	■巨大地震発生、津波襲来、原発事故発生 ■繰り返された避難、そして県外へ
４－２	３月 21日－ ４月 30日	■市民生活の安定化への取組みと避難生活の長期化 ■「警戒区域」の指定
４－３	５月 １日－ ９月 30日	■放射能との闘い ■慰霊、そして前へ
４－４	10月 １日－ ３月 31日	■復旧・復興へ一歩ずつ
４－５	４月 １日－12月 31日	■日常を、ふるさとを取り戻すために

■本章の記録について

本章の記録は、南相馬市における東日本大震災発災時より、できる限り正確、かつ、客観的な事象を整理し、記録として残すことを目的とした。

【参考としたデータ】

・「南相馬市災害対策本部会議議事録（平成 23 年 3 月 11 日～平成 24 年 12 月 18 日)」「広報みなみそうま」の他、南相馬市役所職員を対象に実施したヒアリング調査結果をもとに、時間の流れに沿って掲載している。

・地震や原発事故、政府や関係機関の動きなどは、新聞社発行資料等をもとに編集した。

掲載マーク	資料名	編著	発行日
□	福島民報本紙記事の要約	福島民報社	
◇	東日本大震災　ふくしまの 30 日	福島民報社	平成 23 年 4 月 20 日 （平成 24 年 2 月 20 日 7 刷）
△	東日本大震災　原発事故 ふくしま　1 年の記録	福島民報社	平成 24 年 3 月 11 日
☆	福島原発事故独立検証委員会 調査・検証報告書	福島原発事故 独立検証委員会	平成 24 年 3 月 11 日

・政府の指示・決定事項は緑字、地震・津波の状況は赤字、原発事故関連は橙字で表記した。

・記載写真は、南相馬市内の様子であり、南相馬市役所にて管理しているものである。

・動画共有サービス Youtube（http://www.youtube.com）へ配信した南相馬市長のメッセージは、Youtube 掲載動画より文字起こし後、再構成した。

【記録の構成】

・記録は、平成 23 年 3 月 11 日の地震発生から平成 24 年 12 月 31 日までを掲載した。

・見開きの左頁は南相馬市内の状況、右頁は国内・県内の状況を掲載した。

・日付・時間の流れに沿って、データ・写真を上段より掲載した。

・南相馬市の震災の記録としてポイントとなる日時を主な区切りとして、５部構成（４－１～４－５）としている。

4－1　3月11日―3月20日

■巨大地震発生、津波襲来、原発事故発生

3月11日14時46分、東北地方太平洋沖地震が発生した。三陸沖から茨城沖にかけてを震源とする連動型で、マグニチュード9、最大震度7の巨大地震であった。

南相馬市では最大震度6弱を観測、気象庁からは大津波警報が発せられた。市では14時55分には避難勧告を発令、15時には災害対策本部を設置し、情報収集にあたった。南相馬市沿岸に津波が到達したのは15時35分ごろで、南相馬市にもっとも近い相馬港の観測点では9.3m以上の最大波を観測した。被害面積は40.8km^{2}と、市域の約10%に及んだ。この大津波による被害を受けた福島第一原発では緊急事態が発生した。

■繰り返された避難、そして県外へ

余震が相次ぐ中、市内各所に避難所が開設され、全市民の1割を超える約7,600人が一夜を過ごした。

翌12日15時36分に福島第一原発1号機で水素爆発が発生、避難指示範囲が半径20km圏内へと拡大され、小高区全域と原町区の一部の避難所は閉鎖、避難者は移動を余儀なくされた。さらに14日には福島第一原発3号機、15日に2号機でも事故が発生。情報が錯綜する中、ガソリンや救援物資が市内へ流通しなくなり、避難所の食事にも事欠く事態に陥った。こうした状況を受けて市は全市民に対して市外への避難を促し、18日から20日にかけてバスを手配し、県外への集団避難を実施した。

集団避難が完了した20日夜、桜井市長は11日の災害発生以降避難所対応に重きを置いていた庁内の緊急体制を解き、通常業務へ戻るよう職員へ指示した。

3月11日　南相馬市役所

3月11日　南相馬警察署から

3月11日　JR原ノ町駅

3月11日　避難所（浮舟文化会館）

3月12日　南相馬市役所屋上から

3月12日　災害派遣（原町区本町）

3月13日　避難所（石神一小）

3月18日　避難所（ゆめはっと）

3月20日　バスによる集団避難

南相馬市内

	地震・津波・原発事故の状況	南相馬市内の状況とその時起こった出来事
2011/3/11		
14:46	南相馬市で震度6弱を観測	［地震発生直後（原ノ町駅前）］ ［地震発生直後の様子］
	東京電力（以下、東電）の福島第一原子力発電所（以下、福島第一原発）及び、福島第二原子力発電所（以下、福島第二原発）など原発11基が自動停止◇	
		第2回市議会定例会（一般質問中に震災発生）
14:49		気象庁が大津波警報発令（福島県は到達時刻15時10分頃、津波の高さは3mと予想される）
		市内全域に、道路陥没、断水発生
		市内全域に、固定電話及び携帯電話が繋がりにくい状況
		市立総合病院は、外来対応の継続、救急対応の実施
14:51	南相馬市で震度4を観測	［第1回災害対策本部会議］
14:54	南相馬市で震度4を観測	
14:55		避難勧告発令
14:58	南相馬市で震度4を観測	
15:00		災害対策本部を設置 市役所本庁舎玄関前にて第1回災害対策本部会議（情報収集の徹底を指示）
15:12	南相馬市で震度4を観測	
15:14		気象庁が大津波警報発令を更新（予想される津波の高さが3mから6mに更新）
15:15	南相馬市で震度4を観測	家屋、道路、各施設等の地震被害状況を把握するため、市内各所に調査員派遣
		消防団による連携体制の整備
15:30		第2回災害対策本部会議（被害状況報告）
		気象庁が大津波警報発令を更新（予想される津波の高さが6mから10m以上に更新）
15:35頃	南相馬市に津波到達	［津波到達］ ［津波到達］
		津波被害により介護老人保健施設ヨッシーランドで10人が死亡、数人が行方不明
		入所者30人以上を市立総合病院へ搬送、県立テクノアカデミー浜へ避難□
		市内に避難所開設
		自衛隊第44普通科連隊(福島市)65人、会津若松、喜多方、南会津の9隊29人が救助活動□
16:28	南相馬市で震度5弱を観測	
16:30		第3回災害対策本部会議（避難所早急設置の指示、自衛隊派遣要請の指示）
16:49		ひばり生涯学習センターより避難所開設の報告
17:31	南相馬市で震度4を観測	
17:40	南相馬市で震度5弱を観測	

※赤字は地震、津波関連　□は福島民報本紙記事の要約　◇は「ふくしまの30日」
※橙字は福島第一原発事故関連　△は「ふくしま1年の記録」　☆は「事故独立委員会報告書」

国内・県内

地震･津波･原発事故の状況	国内・県内の出来事	
		2011/3/11
三陸沖を震源とするM8.8の地震が発生。宮城県栗原市で震度7を観測。マグニチュード(M)8.8は観測史上最大◇		14:46
	［地震被害］ ［地震被害］	
	JR東日本管内の新幹線運休◇	
	気象庁が福島、青森、茨城、千葉の太平洋沿岸などに大津波警報を発令◇	14:49
	県が災害対策本部、県警が災害警備本部を設置	
	中・浜通りなどの46市町村も災害対策本部を設置	
	政府が官邸対策室を設置。菅首相は直後に国会から官邸へ◇	14:50
福島県沖を震源とするM6.8の地震が発生。宮城県栗原市ほかで震度5弱		14:51
	達増岩手県知事が政府に自衛隊の派遣を要請。その後、宮城、福島、青森の3知事も。陸海空の計8,000人が出動◇	14:52
福島県沖を震源とするM6.1の地震が発生		14:54
福島県沖を震源とするM6.6の地震が発生。宮城県大河原町で震度5弱		14:58
	官邸地下の危機管理センターへ菅首相らが到着☆	15:00
福島県沖を震源とするM6.7の地震が発生	警察庁が緊急災害対策警備本部を設置◇	15:12
	気象庁が大津波警報を更新（予想される津波の高さを拡大）	15:14
茨城県沖を震源とするM7.6の地震が発生。茨城県鉾田市などで震度6弱を観測◇		15:15
	気象庁が大津波警報を更新（予想される津波の高さをさらに拡大）	15:30
	［津波被害］ ［津波被害］	
	第1回緊急災害対策本部会議開催☆	15:37
	原災法第10条に基づく特定事象発生の通報（第10条通報）☆	15:42
	気象庁が1回目の記者会見。M8.8の地震を「平成23（2011）年東北地方太平洋沖地震」と命名◇	16:00
岩手県沖を震源とするM6.6の地震が発生		16:28
	原災法第15条に基づく特定事象発生の通報（第15条通報）☆	16:42
	菅首相が記者会見で「国民の安全確保と被害を最小限に抑えるため政府として総力を挙げる」と強調◇	16:55
福島県沖を震源とするM5.9の地震が発生		17:31
福島県沖を震源とするM6.0の地震が発生		

※赤字は地震、津波関連
※橙字は福島第一原発事故関連
※緑字は政府の指示、決定事項
□は福島民報本紙記事の要約　◇は「ふくしまの30日」
△は「ふくしま1年の記録」　☆は「事故独立委員会報告書」

南相馬市内

	地震・津波・原発事故の状況	南相馬市内の状況とその時起こった出来事
18:00		第4回災害対策本部会議（避難所の職員配置体制）
		小川町体育館を支援物資の拠点として各避難所へ配布
		災害時相互応援協定先に食糧要請
		市役所食堂にて炊き出し開始
19:00		防衛省は、「南相馬市1,800世帯が壊滅状態」と発表
19:10		第5回災害対策本部会議（原町製パンへ食糧要請、地下食堂の職員20人の要請）
		防災無線にて毛布や食糧品の提供を呼掛け、市役所に救援物資が持ち込まれる□
20:30時点		原町区小沢、小浜地区で約100世帯、渋佐、萱浜地区で約200世帯が水没
20:34		第6回災害対策本部会議（仮設トイレ、毛布の手配、原町高等学校へ遺体収容）
22:00		第7回災害対策本部会議（毛布の追加配布）
23:30		第8回災害対策本部会議（ボランティアの受入態勢、市営住宅入居者には仮設住宅を含め不動産業者へ確認）
2011/3/12		
0:00時点		南相馬市で24人の死亡確認□
		南相馬市立中央図書館、南相馬市博物館の臨時休館を決定（平成23年8月9日再開）
5:44	1号機の中央制御室で放射線量が上昇し、避難指示区域を福島第一原発から半径3km圏内から10km圏内に拡大◇	
		南相馬市立小高病院の入院患者を南相馬市立総合病院へ搬送
6:00		第9回災害対策本部会議（日本赤十字奉仕団に医療班を要請）
8:30		第10回災害対策本部会議（避難者名簿を各避難所配布、市ホームページ掲載の指示）
		福島市は、南相馬市約1,000人の受入れを決定□
		三春町は、南相馬市、大熊町、双葉町約1,500人を避難所7ヵ所へ受入れを決定□
		広域緊急援助隊（計約530人）が南相馬市、相馬市、双葉町で捜索、救助活動□
		浪江町の一部住民が南相馬市へ避難（のちに浪江町住民専用の応急仮設住宅を設置）
		市立総合病院が災害対策本部立上げ
		市教育委員会は14、15、16日に市立幼稚園、小中学校の臨時休業を決定□
		市民や企業からの救援物資が小川町体育館へ到着
11:00		第11回災害対策本部会議（遺体搬送の任意様式記載の指示）
13:30		第12回災害対策本部会議（原町高等学校遺体安置数の報告）
14:56		被災ごみ一次集積地の決定、連絡
15:00		
15:36	1号機建屋で水素爆発。東電社員ら4人がけが◇	
17:39	福島第二原発から半径10km圏内の住民へ避難指示☆	
16:00		第13回災害対策本部会議（臨時電話設置の調整、遺体安置所の報告）
18:25	福島第一原発から半径20km圏内の住民へ避難指示☆	
		小高区内の各避難所から、福島第一原発から半径20km圏外へバスによる集団避難を開始
		福島第一原発から半径20km圏内に残っている住民に対し、広報車や消防車による避難指示活動を実施
19:00		第14回災害対策本部会議（職員の健康管理への配慮、ライフライン状況の報告）
22:15	南相馬市で震度4を観測	
23:30時点		南相馬署管内で死者106人を確認

※赤字は地震、津波関連　□は福島民報本紙記事の要約　◇は「ふくしまの30日」
※橙字は福島第一原発事故関連　△は「ふくしま1年の記録」　☆は「事故独立委員会報告書」

国内・県内

地震･津波･原発事故の状況	国内・県内の出来事	
	危機管理センター横の中2階で原発対応が検討される態勢となる☆	夕方
	政府が福島第一原発について原災法に基づく「原子力緊急事態宣言」を発令◇	19:03
	福島第一原発から半径3km圏内の住民に避難指示。陸上自衛隊化学防護隊が出動◇	21:23
		2011/3/12
	原災法第15条に基づく特定事象発生の通報☆	0:05
福島第一原発1号機で原子炉格納容器内の圧力が高まったと東電が国に報告◇		0:49
	東電からベント申し入れを官邸が了解☆	1:30頃
長野県北部を震源とするM6.7の地震が発生、長野県栄村で震度6強◇	ベント実施に関する経産相及び東電の記者会見☆	3:06
	南相馬市の1,800世帯が壊滅と防衛省が発表◇	3:51
	福島第一原発から半径3km圏外～10km圏内の住民に避難指示	
	菅首相が被災状況視察のためヘリコプターで官邸を出発◇	6:19
	海江田経産相による原子炉等規定法に基づくベント命令が東電に出される☆	6:50
福島第二原発の1、2、4号機が冷却機能を失い、東電が国に緊急事態を通報したことが判明◇		7:40
	福島第二原発にも「原子力緊急事態宣言」を拡大◇	7:45
	福島第二原発から半径3km圏内の住民に避難、福島第二原発から10km圏内に屋内退避を指示◇	
	吉田福島第一原発所長によるベント指示☆	8:03
	菅首相が福島第一原発を出発☆	8:04
	大熊町の一部で避難未了であることを東電が把握☆	8:27
	大熊町の避難完了が確認される☆	9:02
	作業員がベントに着手☆	9:04
	原子力安全保安院が福島第一原発の格納容器内の蒸気放出を東電に命令◇	9:11
福島第一原発1号機の周辺で放射性セシウムが検出されたことが判明。炉心溶融が起きたことを確認◇		14:00
	消防車により1号機へ累計80,000ℓ注水完了☆	14:53
		15:36
	枝野官房長官会見「何らかの爆発的事象があったということが報告されています」☆	17:49
		18:25
	官邸の指示で福島第一原発の避難指示の範囲を3km～10km圏内から20km圏内に拡大したと福島県◇	19:04
福島県沖を震源とするM6.2の地震が発生		19:04
東電は1号機に海水注入◇		

※赤字は地震、津波関連
※橙字は福島第一原発事故関連
※緑字は政府の指示、決定事項
□は福島民報本紙記事の要約　◇は「ふくしまの30日」
△は「ふくしま1年の記録」　☆は「事故独立委員会報告書」

南相馬市内

	地震・津波・原発事故の状況	南相馬市内の状況とその時起こった出来事
2011/3/13		
5:00		第15回災害対策本部会議（マスク着用指示、避難者数再確認、市内企業の状況把握の指示）
7:00		第16回災害対策本部会議（避難者の移動先確認）
10:00		第17回災害対策本部会議（インフラ、避難者等の状況報告）
		津波被害を受けた沿岸部は水没のため、遺体捜索が難航
		ガソリンスタンドで渋滞発生
		避難者増加に伴う避難所の増設を検討
		県内外のレスキュー隊約50人が渋佐地区などで捜索活動
15:00		第18回災害対策本部会議（消防団より重機要請、各課への業務指示）
19:00		第19回災害対策本部会議（死亡者受付時間の延長、避難者名簿の情報を避難所へ提供）
2011/3/14		
3:30		第20回災害対策本部会議（飯舘、相馬の受入可能な人数把握、ルート確保の確認）
6:00		第21回災害対策本部会議（ガソリン券の交付指示、警察、消防、自衛隊の活動状況報告）
		ガソリン券を公用、準公用に発行（3日間使用可能）
11:00		第22回災害対策本部会議（原発爆発時の避難所連絡体制の確認、ヨウ素剤再配布の懸念）
11:01	福島第一原発3号機で水素爆発◇	
		小高赤坂病院の患者60人と職員21人を県相双保健福祉事務所や福島県立医学大学に搬送
		鹿島区沿岸部を陸上自衛隊第30普通科連隊（新潟県新発田市）と地元消防団が捜索
		災害がれきの仮置き場の利用が開始されるが、原発事故の影響により直ちに中止
		陸上自衛隊福島駐屯地が津波被害沿岸部の航空写真（12日撮影）を公開
		家庭ごみの収集は、車両燃料確保困難のため、見合せ
		自衛隊は、市役所や避難所へ福島第一原発から半径100km圏外への避難指示を通告するが、誤報と訂正
21:30時点		南相馬市で死者161人、行方不明者110人を確認

［自衛隊 災害派遣］

［物資搬入］

※赤字は地震、津波関連　□は福島民報本紙記事の要約　◇は「ふくしまの30日」
※橙字は福島第一原発事故関連　△は「ふくしま1年の記録」　☆は「事故独立委員会報告書」

国内・県内

地震･津波･原発事故の状況	国内・県内の出来事	
		2011/3/13
	気象庁が東北太平洋側の津波警報を注意報に切り替え。津波警報の発令地域なくなる◇	7:30
	防衛省災害対策本部会合で、自衛隊の災害派遣を10万人態勢に増強するよう菅首相から指示を受けたと北沢防衛相◇	9:00
	全壊や半壊、一部破損した建物が午前10時現在で2万棟を超えたと総務省消防庁◇	11:16
	気象庁が東日本大震災のマグニチュードを8.8から9.0に修正◇	12:55
福島第一原発3号機について、建屋爆発の可能性と枝野官房長官。東電は蒸気を放出し、真水、海水を注入◇		15:41
	菅首相は電力不足に対応し「東電が14日から計画停電の実施を了承した」と表明◇	19:59
		2011/3/14
福島第一原発で放射線量が制限値を超えたため緊急事態を国に通報したと東電が公表◇		7:00頃
	菅首相が政府の会合で福島第一原発について「憂慮すべき状況が継続。これ以上の被害がないよう全力を挙げる」と述べる◇	9:30すぎ
		11:01
	原子力安全保安院は福島第一原発から半径20km圏内の住民ら約600人に屋内退避を呼びかけ◇	
福島第一原発2号機で原子炉の冷却機能が喪失したとして、東電が国に緊急事態を通報◇	［津波被害（小島田）］ ［津波被害（上渋佐）］	13:25
福島第一原発2号機で、東電が原子炉に海水の注入を開始◇		16:34
	被災地の各警察まとめで、死亡行方不明が5,000人を超える◇	17:04
福島第一原発2号機で燃料が水面から完全に露出し、原子炉が空焚き状態になったと東電が公表◇	［マンホール復旧作業］	19:55頃
	［避難所（原町保健センター）］ ［避難所（原町第二小学校）］	

※赤字は地震、津波関連
※橙字は福島第一原発事故関連
※緑字は政府の指示、決定事項
□は福島民報本紙記事の要約　◇は「ふくしまの30日」
△は「ふくしま1年の記録」　☆は「事故独立委員会報告書」

南相馬市内

	地震・津波・原発事故の状況	南相馬市内の状況とその時起こった出来事
2011/3/15		
5:00		第23回災害対策本部会議（食糧配給の遅滞、電気復旧、薬剤の不足）
		原町区の倒壊家屋や道路破損箇所へのバリケードを設置
6:10	福島第一原発2号機で爆発音◇ 福島第一原発4号機建屋の損壊☆	 ［原町区の様子］ ［鹿島区の様子］
8:56	福島第一原発4号機の建屋4階で出火◇	
10:30		第24回災害対策本部会議（移動手段が途絶える、食糧不足）
11:00		政府は、福島第一原発から半径20km圏外～30km圏内の住民に対し屋内退避指示
		陸上自衛隊は、福島第一原発から半径20km圏外～30km圏内の行方不明者の捜索を中止
		自家用車、バスにより市外へ集団避難開始（相馬市旧相女高、伊達市梁川体育館、宮城県丸森町役場）（～17日）
		県は、巡回スクリーニング開始。市は、福島県相双保健福祉事務所で常設実施
		原町区の太田、大甕地区の地元有志が「太田・大甕ボランティア支援組織」を発足
		防犯パトロールなどの活動開始
19:00		第25回災害対策本部会議
		防災無線にて桜井市長より市民へ激励メッセージ 市内に救援物資が入ってこないため、隣接市町村まで行き受け取りに行く
2011/3/16		
5:45	福島第一原発4号機で火災◇	
6:00		第26回災害対策本部会議
		政府が緊急避難用ガソリンの運搬を開始 （業者の都合により搬送先は郡山市まで、市でドライバーを手配し市内へ運搬）
7:10		物資不足を訴え、新潟県知事が支援を申し出
11:00		第27回災害対策本部会議（避難希望市民への対応方法の検討）
15:00		第28回災害対策本部会議（17～19日の避難者移送、避難者へのガソリン配布検討）
		東京都杉並区来庁
19:00		第29回災害対策本部会議（市民の避難意志の尊重）
夜中		ガソリン搬入のタンクローリー車到着
2011/3/17		
6:00		第30回災害対策本部会議（17～19日避難活動の遂行を指示）
		ガソリンスタンド開設の時間や場所などの一斉周知広報を実施（車1台10ℓを全ての車両に実施）
		新潟県三条市、小千谷市、群馬県東吾妻町へ集団避難実施
15:00		第31回災害対策本部会議（移送バス、介護施設移送先の調整）
18:00		第32回災害対策本部会議（個人宅避難の呼びかけ実施の報告）
		県外への避難移動（18～20日）の説明会を開催（鹿島区3箇所、原町区7箇所）

※赤字は地震、津波関連　□は福島民報本紙記事の要約　◇は「ふくしまの30日」
※橙字は福島第一原発事故関連　△は「ふくしま1年の記録」　☆は「事故独立委員会報告書」

国内・県内

地震･津波･原発事故の状況	国内・県内の出来事	
		2011/3/15
福島第一原発2号機で高濃度の放射性物質を含む蒸気を外部放出◇		0:00頃
	政府･東電による対策統合本部を設置☆	5:26
		6:10
経済産業省原子力安全保安院は「放射性物質が漏えいする恐れ」◇		
	東電が栃木、群馬、埼玉、神奈川の4県の一部地域で計画停電を実施◇ 作業員約650人が一時福島第二原発へ退避☆	7:00
福島第一原発の正門前で毎時8,217μSvの放射線量を検出と東電3号機付近は10時22分に毎時400mSvで、一般人の年間被ばく線量限度の400倍◇		8:31
		8:56
	東京－那須塩原間で東北新幹線が4日ぶりに運転再開◇	9:40
	福島第一原発から半径20km圏外～30km圏内の住民ら約14万人を対象に、屋内退避の指示と菅首相◇	11:08
	佐藤福島県知事が菅首相に「県民の不安や怒りは極限に達している」と電話◇	16:21
福島第一原発の事故は、国際原子力事象評価尺度（INES）で上から2番目の「レベル6」に相当とフランスの原子力施設安全局局長◇		20:56
	警察庁集計で死者3,373人、行方不明者7,558人で、合わせて1万人を超える。県内死者は500人超◇	22:00
		2011/3/16
		5:45
	福島第一原発3号機より白煙が大きく噴出☆	8:34
福島第一原発で白煙が上がっているのは3号機とみられ水蒸気の可能性と東電◇		10:33
福島市の水道水から放射性ヨウ素とセシウムを検出。国の安全基準は下回る◇		15:36
	宮内庁は天皇陛下が「皆がいたわり合って、この不幸な時期を乗り越えることを心より願っています」と国民に語りかけるビデオを公表◇	16:30
		2011/3/17
陸上自衛隊のヘリ2機が福島第一原発3号機に水投下（海水を使用）ヘリ2機で計4回投下◇		9:48
	菅首相とオバマ米大統領との電話会談☆	10:22
	震災発生から1週間の県内の死者不明4,000人超◇	10:30
	米政府が日本滞在中の米国人に出国勧告☆	14:15
警視庁機動隊が高圧放水車で3号機に放水開始◇		19:00
自衛隊消防車が地上から放水◇		19:35

※赤字は地震、津波関連
※橙字は福島第一原発事故関連
※緑字は政府の指示、決定事項
□は福島民報本紙記事の要約　◇は「ふくしまの30日」
△は「ふくしま1年の記録」　☆は「事故独立委員会報告書」

南相馬市内

	地震・津波・原発事故の状況	南相馬市内の状況とその時起こった出来事
2011/3/18		
6:00		第33回災害対策本部会議（職員の配置、避難の対応）
		松本防災担当相は、桜井市長の案内でヨッシーランド、市立総合病院等を視察
		県外への集団避難開始（新潟県上越市、糸魚川市、群馬県東吾妻町、片品村）（～20日）
		市内の電話及び通信回線が概ね復旧
		市ホームページによる情報提供が再開
15:00		第34回災害対策本部会議（自宅生活市民の避難計画、各病院の入院状況の報告、高速道路の料金確認）
18:00		第35回災害対策本部会議（緊急避難計画の説明会、避難状況の報告）
2011/3/19		県警機動隊が原町区小野田病院、大町病院の入院患者を福島第一原発から半径30km圏外へ搬送
		県警、南相馬市鹿島区での行方不明者捜索の模様を撮影した写真を公開
15:00		第36回災害対策本部会議（県外への避難誘導の徹底、物資の供給能力低下の情報発信）
18:00		広報車を移動させ、ポイントごとに県外への避難指示を放送
		［石神第二小学校よりバス避難］ ［避難所（ゆめはっと）］
2011/3/20		
6:00		第37回災害対策本部会議（1人暮しの移送、在宅者への対応）
		田中新党日本代表らが、南相馬市に防寒具など救援物資4tトラック1台分を届ける
		横浜市老人介護保健施設は、社会福祉法人「南相馬福祉会」運営の特別養護老人ホームの入所者ら228人を受入れ
		東京都大田市場より原町区のまちなかひろばで物資支援（野菜10tを市民に無料配布）
		金沢市のスポーツクラブヴィテンが灯油4kℓ、軽油2kℓの物資支援
15:00		第38回災害対策本部会議（避難報告、在宅寝たきり者の調査、戻ってきた自主避難者の対応策の検討）
		全職員へ説明会を実施（通常業務体制移行の指示）

※赤字は地震、津波関連　□は福島民報本紙記事の要約　◇は「ふくしまの30日」
※橙字は福島第一原発事故関連　△は「ふくしま1年の記録」　☆は「事故独立委員会報告書」

国内・県内

地震･津波･原発事故の状況	国内・県内の出来事	
		2011/3/18
東京消防庁がハイパーレスキュー隊ら139人派遣◇		3:20
自衛隊の消防車が福島第一原発3号機に放水◇		13:55
	地震発生から1週間の同時刻、県自治会館の県災害対策本部で、約200人の県職員が1分間の黙とう◇	14:46
	「東電、自衛隊、警察、消防が命懸けで作業している」と菅首相◇	20:20
福島第一原発1～3号機の事態の深刻さを「レベル5」と暫定評価	［バス避難準備］ ［原町第一小学校よりバス避難］	
		2011/3/19
福島第一原発3号機への東京消防庁の連続放水を開始◇		14:05頃
	福島第一原発がある双葉町の住民が、集団避難先のさいたまスーパーアリーナに到着◇	14:40頃
枝野官房長官は福島県の牛乳と茨城県のホウレンソウから基準値を超える放射線量を検出と発表◇		16:15頃
福島第一原発の事故で、6人の作業員が、緊急時の上限である100mSvを超える被ばくと東電◇		19:30
県が放射線健康リスク管理アドバイザーとして世界保健機構(WHO)緊急被ばく医療協力研究センター長の山下俊一氏、元WHOテクニカルオフィサーの高村氏を委嘱したと発表。2人は県災害対策本部で記者会見し、「放射能の影響は心配ない」と強調	［支援物資］ ［支援物資］	
		2011/3/20
福島第一原発3号機への東京消防庁の放水が終了。連続放水は13時間以上◇		3:40まで
陸上自衛隊の消防車が福島第一原発4号機に放水。福島第一原発4号機への放水は初◇		8:20
	宮城県石巻市の崩壊した住宅から80歳の女性と16歳の少年を救出と県警◇	16:00頃
暫定基準値を超える放射性物質が新に検出された原乳の産地は飯舘村など4市町村で、放射性物質のうちヨウ素は基準値の4～17倍と佐藤知事◇		17:10
	コンクリートポンプ車による福島第一原発4号機使用済み燃料プールへの放水開始☆	17:17
北沢防衛相は、福島第一原発の1～6号機の使用済み燃料プールの温度は全て100度未満と説明。「国民の皆さんに安心していただける数字」		22:50頃
県がいわき、国見、新地、飯舘の4市町村で実施した原乳の緊急検査で食品衛生法の暫定基準値を超える放射性物質が検出されたと発表。県内の全酪農家に、出荷と自家消費の自粛を要請	［野菜配布（まちなか広場）］ ［野菜配布（まちなか広場）］	

※赤字は地震、津波関連
※橙字は福島第一原発事故関連
※緑字は政府の指示、決定事項
□は福島民報本紙記事の要約　◇は「ふくしまの30日」
△は「ふくしま1年の記録」　☆は「事故独立委員会報告書」

■2011 年 3 月 11 日撮影写真

災害対策本部会議

津波被害（鹿島区）

市役所内（避難所の毛布など物資の準備）

避難所（さくらホール）

■2011 年 3 月 12 日撮影写真

津波被害（鹿島区海老）

給水（小高区役所）

支援物資（小川町体育館）

総合病院